

(プログラム)

12:30- 開場

13:00-13:05 主催者(山口大学大学院教授 神田 隆)あいさつ

13:05-14:15 講演(司会:山口大学大学院教授 神田 隆)

講演1 「手足の痛み:神経内科医の立場から」  
信州大学医学部 内科学(脳神経内科、リウマチ・膠原病内科) 教授  
池田 修一 先生

講演2 「手足の痛み:整形外科医の立場から」  
山口大学医学部附属病院 整形外科 助教  
吉田 佑一郎 先生

14:15-14:30 休憩(質問票回収)

14:30-15:05 講演(司会:山口大学大学院教授 神田 隆)

講演3 「手足の痛み:機能外科医の立場から」  
山口大学医学部附属病院手術部/脳神経外科 准教授  
藤井 正美 先生

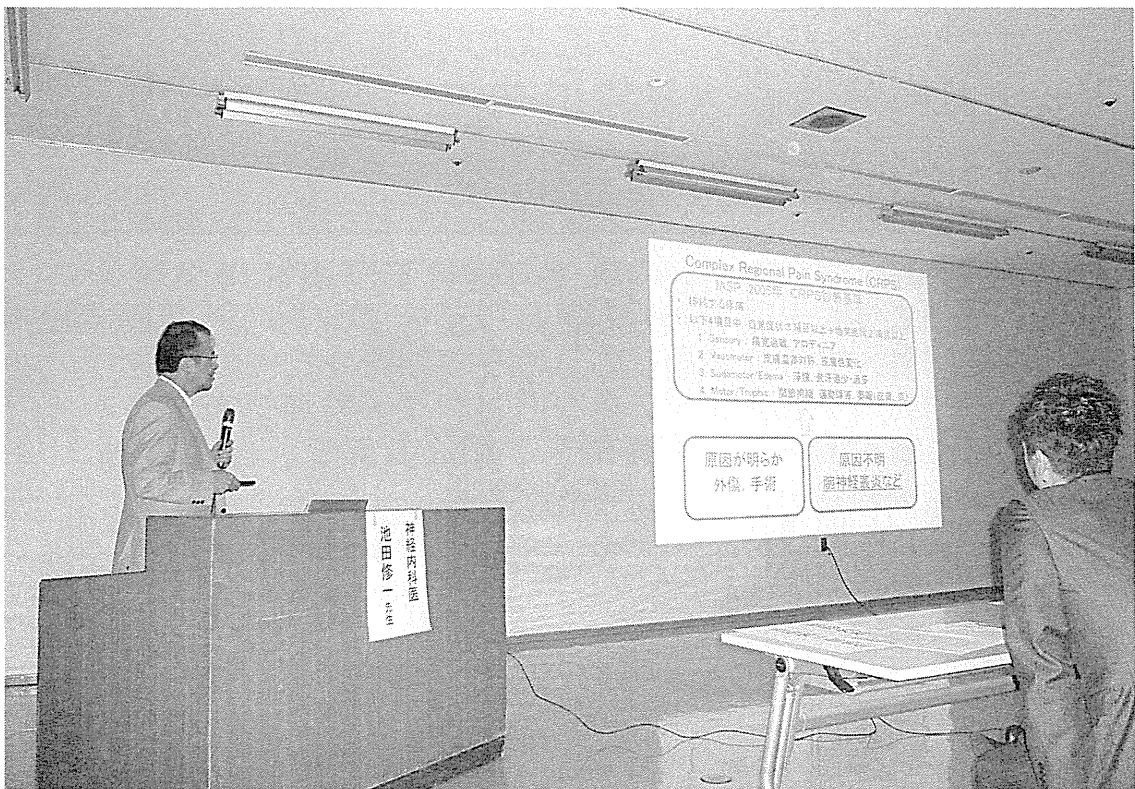
15:05-15:10 質問票回収

15:10-15:40 パネルディスカッション  
司会: 神田 隆  
パネリスト: 池田 修一 先生 (神経内科医)  
吉田 佑一郎 先生 (整形外科医)  
藤井 正美 先生 (機能外科医)

15:40 閉会

(参加者の方へのお願い)

- ・個々の講演に対する質疑応答はございません。質問などがございましたら、お手元の質問票に記入の上、休憩時間に回収ボックスへ投入ください。いただいた質問などを元に、パネルディスカッションを行います。
- ・各自ゴミはお持ち帰りください。
- ・会場は禁煙です。喫煙は所定の場所(屋外)でお願いします。



市民公開講座

# シンポジウム

## 「痛みの克服をめざして」

近年、痛みの治療が著しく進歩し、多くの痛みが制御可能となりつつあります。しかし「痛み」といっても様々な原因で起こり、治療法も異なります。今回の公開講座ではいろいろな種類の痛みを取り上げ、どのように痛みを予防し、克服できるかお話しします。

午後1:45～ 開会挨拶：鹿児島大学病院 神経内科・老年病学 教授 高嶋 博 先生

### 第一部 講演

講演1 「手足の痛み：原因と対策—神経内科の立場から」

信州大学医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 教授 池田修一 先生

講演2 「糖尿病患者さんの痛みの原因とその治療」

鹿児島大学病院 糖尿病内分泌内科 助教 出口尚寿 先生

講演3 「脊柱に由来する痛みとその最新治療」

鹿児島大学病院 整形外科 特任准教授 石堂康弘 先生

講演4 「ペインクリニックにおける痛みの治療」

鹿児島大学病院 麻酔科 助教 大納哲也 先生

### 第二部 Q&Aコーナー「あなたの疑問・質問にお答えします」

司会：鹿児島大学病院 神経内科・老年病学 教授 高嶋 博 先生

パネリスト：信州大学医学部 脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 教授 池田修一 先生

鹿児島大学病院 糖尿病内分泌内科 助教 出口尚寿 先生

鹿児島大学病院 整形外科 特任准教授 石堂康弘 先生

鹿児島大学病院 麻酔科 助教 大納哲也 先生

開催日 2014年1月25日(土)

13:45-16:30 (13:20開場)

ところ 鹿児島県医師会館4階大ホール

※公共交通機関もしくは最寄りの有料駐車場をご利用下さい。

参加費  
無料



お問い合わせ 市民公開講座事務局 (鹿大医学部神経内科講座) TEL 099-275-5332

主催：鹿児島大学医学部 神経内科・老年病学講座

後援：厚生労働省 慢性の痛み対策研究事業「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究班」

# ご挨拶

鹿児島大学病院 神経内科・老年病学 教授 高嶋 博 より

近年、痛みの治療が著しく進歩し、多くの痛みが制御可能となりつつあります。しかし「痛み」といっても様々な原因でおこり、治療法も異なります。今回の公開講座ではいろいろな種類の痛みを取り上げ、どのように痛みを予防し、克服できるかお話しします。



## 演者より

### 講演1

「手足の痛み: 原因と対策—神経内科の立場から」

信州大学医学部 脳神経内科、  
リウマチ・膠原病内科 教授  
池田修一 先生



手足の慢性疼痛は患者さんを常時苦しめ、日常生活動作を大きく制限します。特に高齢者では、四肢の廃用萎縮と関節拘縮を伴いがちです。このため厚労省は平成23年度、慢性疼痛の原因説明と新たな治療法確立を目指して「慢性の痛み対策研究事業」を立ち上げました。

私は難治性神経因性疼痛部門を担当することになり、本日の主催者である鹿児島大学の高嶋博教授を含む国内の専門家を集めて研究組織をスタートさせました。神経痛に代表される末梢神経障害が原因となる手足の痛みは、CTやMRIを用いた画像診断により容易に診断ができるわけではないため、誤診または診断の遅れが起こりやすい領域です。専門医による詳細な病歴聴取と身体診察が診断の決め手となります。

また病因として、膠原病類似の自己免疫が関与している場合があります。免疫調整剤の投与により症状の改善が得られる場合が少なくありません。これらを含めて神経因性疼痛の最新の考え方を説明したいと思います。

### 講演2

「糖尿病患者さんの痛みの原因とその治療」

鹿児島大学病院 糖尿病内分泌内科 助教  
出口尚寿 先生



糖尿病は、今や国民病ともいわれるほど増えている病気ですが、血糖値が高い状態が続くと様々な合併症が静かに進行していきます。その中でももっともよく起こるのが「痛み」や「しびれ」などの感覚異常を引き起こす糖尿病性神経障害で、糖尿病患者さんの約40%にみられます。感覚異常は両足先、もしくは両足裏から起こるのが典型的ですが、患者さんの中には、痛みやしびれが糖尿病によるものと気づいていない人もいます。症状が軽いからといって放置していると、痛みがひどくなって仕事や日常生活に支障がでることもありますし、逆に感覚が鈍くなって傷に気づきにくくなり、足に潰瘍を作ることもあります。糖尿病性神経障害の治療は、糖尿病の治療をしっかり受けることが一番大切ですが、痛みに対する治療で痛みを軽くすることが可能です。「痛みさえなければ…」と悩んでいらっしゃる方に、糖尿病性神経障害の病態と治療についてわかりやすく解説します。

### 講演3

「脊柱に由来する痛みとその最新治療」

鹿児島大学病院 整形外科 特任准教授  
石堂康弘 先生



身体を動かすのに必要な手足の関節や背骨に障害が起こり、自分で移動する能力が低下して要介護になる危険度が高い諸症状のことを「ロコモティブシンドローム」と言います。中でも背骨（脊椎）の障害は、背骨の中に神経の入っているトンネル（脊柱管、せつきちゅうかん）が存在しているため、痛みやしびれといった神経に由来する特徴的てきな症状をしめします。代表的な病気に椎間板ヘルニアや腰部脊柱管狭窄症といった疾患があります。椎間板ヘルニアとは、背骨と背骨の間にあるクッションの役目をする椎間板が障害を受けて突出、神経を圧迫して足の痛みやしびれなどの症状をきたす病気です。腰部脊柱管狭窄症は、椎間板の老化や背骨の関節の老化、靭帯の変性により脊柱管が狭くなって神経を圧迫、やはり足の痛みやしびれをきたします。本日はこれらの病気のメカニズムと内視鏡による最新治療についてお話いたします。

### 講演4

「ペインクリニックにおける痛みの治療」

鹿児島大学病院 麻酔科 助教  
大納哲也 先生



ペインクリニックとはペイン（痛み）とクリニック（診療所）を合わせた名称で、いろいろな痛みが治療の対象になります。痛みは、体に害が及んでいることを伝える大切な警告信号ですが、長く続く慢性痛という状態になり痛み自体が病気となってしまいます。ペインクリニックでは麻酔の時に鎮痛法を応用して痛みの制御を行っています。現在では痛みの種類に合わせて多くの薬剤が使えるようになってきました。内服薬や貼付薬などをうまく組み合わせることで痛みを軽減します。神経ブロック療法は、局所麻酔薬や高周波熱を使って痛みを感じにくくすることができます。慢性痛では帯状疱疹、三叉神経痛、脊柱管狭窄症などがペインクリニックの対象となります。他の科では手術の適応になる病気もありますので、痛みに対して内科と外科の中間的な治療をしているといえます。ここでは、ペインクリニックで行っている様々な病気と治療についてご紹介したいと思います。



# 市民公開講座

参加無料

お申込み不要

募集人数

先着180名様

# 痛みを理解する!

## 第1部

●15:00～ 講演

### 講演1

製鉄記念室蘭病院  
整形外科

主任医長  
益子 竜弥 先生

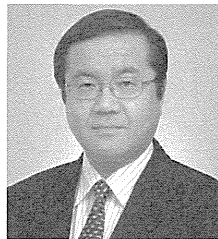


末梢神経由来の  
痛みと治療

### 講演2

札幌医科大学医学部  
整形外科学講座

教授  
山下 敏彦 先生



あし腰の痛み  
～長引く理由とその対処法～

### 講演3

信州大学医学部  
脳神経内科、  
リウマチ・膠原病内科  
教授

池田 修一 先生



手足の痛み:原因と対策  
～神経内科の立場から～

## 第2部

●16:30～[質疑応答] Q&Aコーナー「あなたの疑問・質問にお答えします」

司会進行

北海道大学大学院医学研究科  
機能再生医学講座 整形外科学分野  
教授 岩崎 倫政 先生

パネリスト

製鉄記念室蘭病院  
整形外科  
主任医長 益子 竜弥 先生

札幌医科大学医学部  
整形外科学講座  
教授 山下 敏彦 先生

信州大学医学部  
脳神経内科、リウマチ・膠原病内科  
教授 池田 修一 先生

日時

# 2014年2月2日(日)

●15:00～17:00 (開場14:30～)

場所

## 北海道大学 学術交流会館

〒060-0808

札幌市北区北8条西5丁目

公共交通  
利用案内

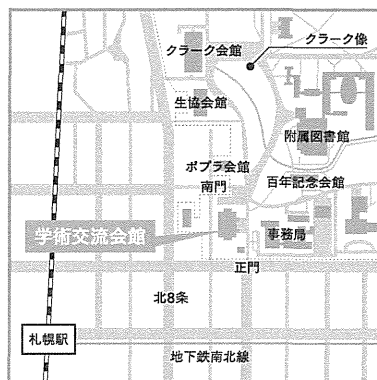
●JR「札幌駅」下車、徒歩10分

●市営交通・地下鉄南北線・東豊線「札幌駅」下車、徒歩15分

●市営交通・地下鉄南北線「北12条駅」下車、徒歩10分

お問合せ

北海道大学大学院医学研究科 機能再生医学講座 整形外科学分野 TEL.011-706-5936 [担当:船越]



市民公開講座「痛みを理解する！」

日時：2014年2月2日（日）15：00～17：00

場所：北海道大学 学術交流会館

プログラム

第1部 講演（15：00～）

1. 「末梢神経由来の痛みと治療」

製鉄記念室蘭病院 整形外科 主任医長 益子 竜弥 氏

2. 「あし腰の痛み ～長引く理由とその対処法～」

札幌医科大学医学部整形外科学講座 教授 山下 敏彦 氏

3. 「手足の痛み：原因と対策 ～神経内科の立場から～」

信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 教授 池田 修一 氏

第二部 Q&A コーナーあなたの疑問、質問にお答えします（16：30～）

司会進行 北海道大学大学院医学研究科 整形外科学分野 教授 岩崎 倫政 氏

パネリスト

製鉄記念室蘭病院 整形外科 主任医長 益子 竜弥 氏

札幌医科大学医学部整形外科学講座 教授 山下 敏彦 氏

信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 教授 池田 修一 氏





[V] 班構成員名簿

厚生労働科学研究費補助金 慢性の痛み対策研究事業  
「難治性神経因性疼痛の基礎疾患の解明と診断・治療精度を向上させるための研究」班  
平成25年度名簿

区 分	氏 名	所 属 等	職 名
研究代表者	池田 修一	信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科	教 授
研究分担者	岩崎 倫政	北海道大学医学部整形外科 上肢班	教 授
	加藤 博之	信州大学医学部運動機能学講座 (整形外科)	教 授
	川眞田 樹人	信州大学医学部麻酔蘇生学講座	教 授
	塩沢 丹里	信州大学医学部産婦人科学講座	教 授
	田淵 克彦	信州大学医学部分子細胞生理学講座学講座	教 授
	福島 和広	信州大学医学部附属病院難病診療センター	准 教 授
	平田 仁	名古屋大学大学院医学系研究科 機能構築医学専攻運動・形態外科学講座 手の外科学教室	教 授
	神田 隆	山口大学大学院医学系研究科 神経内科学講座	教 授
	長檜 巧	愛媛大学大学院医学研究科 麻酔・蘇生学教室	教 授
	西川 典子	愛媛大学大学院医学系研究科薬物療法・神経内科学 講座	准 教 授
	高嶋 博	鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 神経病学講座	教 授
事 務 局	関島良樹 倉科美鈴	信州大学医学部脳神経内科、リウマチ・膠原病内科 〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1 T E L 0263-37-2673 F A X 0263-37-3427 e-mail itamihan@shinshu-u.ac.jp	